



目標・希望・友達

令和7年10月17日
長崎市立女の都小学校
校長 佐藤 和幸

長崎では「長崎くんちが終わると秋がぐっと深まる」と言われます。しかし今年は少し動くと汗ばむくらいの暑さが続いています。そこで、この暑さがいつまで続くのか天気予報を見てみたところ、来週には最高気温が25度前後、最低気温は20度を下回るようです。やっと秋らしさを感じることができるかもしれません。

ただし、季節の変わり目は体調を崩しやすくなりますので、お子様をはじめご家族の皆様には、十分気を付けてください。

ブルーフェスティバルまであと1か月。現在準備をがんばっています。



学力調査分析①

○ 3年生国語科

平均正答率は長崎市、および全国を上回っています。特に「情報の扱い方に関する事項」と「書くこと」の問題は、平均正答率が高くなっています。情報の扱い方に関する事項とは、情報と情報の関係を理解したり、情報を整理・活用したりする力のことです。

一方、今後もっと伸ばしていきたい力は「話すこと・聞くこと」です。これは、相手や目的に応じて的確に話したり、話の中心をとらえながら内容を理解する力です。国語科の授業だけではなく、普段の生活の中でも心掛けて、この力を伸ばすことができるように指導していきます。

○ 3年生算数科

平均正答率は長崎市、および全国を上回っています。算数科ではとびぬけて良い、または悪い学習内容はあります。今回の学力テストでは学習の成果がまんべんなく発揮されています。その中でも「測定」、長さや広さ、重さなどを比較・測定する、量的感覚などがよく身についています。今後はさらに日常生活でも活用できるように指導していきます。

一方「図形」については、さらに力を伸ばしたいと思います。身の回りの物の形に着目して立体図形（ボールの形・箱の形など）や平面図形（三角、四角、円など）について学びます。図形の特徴を理解し、仲間分けをしたり図形を描いたりする力をつけます。これらの学習を通して空間認識の能力も養うことができるように指導していきます。

第63回

長崎市小学校体育大会

10月15日（水）に、長崎市内の6年生が参加する小学校体育大会（小体会）が開催されました。今年度からすべての競技が屋内で行われました。これに伴い、ほとんどの競技種目が新しくなりました。新しく競技種目になったのは、ターゲットボッチャ、プレルボール、フラッグフットボール、フットホッケーの4つです。

女の都小の6年生は、唯一昨年度までもあった競技種目「球入れ」に出場しました。30秒間、10人が20個の球をかごめがけて投げ入れます。これを3ラウンド行い、かごに入った球の数の合計で競います。

6年生の子供たちは、修学旅行後、休み時間や放課後の時間を使いながら、一生懸命練習していました。多くの先生方の助言を素直に聞き、どんどん多くの玉が入るようになっていきました。

14日（火）に行った「小体会選手を励ます会」では、1年生から5年生に前で本番同様の試技を行い、19個、20個、19個、合計58個入れることができました。見ていた子供たちは大盛り上がりでした。

小体会当日、出場は午後1時からだったため、近くに座っていた西浦上小学校の試合を応援するなどして過ごしました。そして本番では、20個、19個、19個の合計58個で、見事グループ2位になりました。（1位とは1個差でした）がんばった6年生に大きな拍手を送りたいと思います。